

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	平成20年8月28日から平成35年8月15日まで
運用方針	安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	ベビー ファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド受益証券、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接債券および短期金融商品等に投資する場合もあります。
	マザー ファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドの各ページをご参照ください。
組入制限	ベビー ファンド マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限ります。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザー ファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド、モルган・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドの各ページをご参照ください。
分配方針	<毎月分配型>原則として、毎決算時(毎月15日)、ただし、決算日が休業日の場合は翌営業日に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から配当等収益等を中心で安定した分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等を勘案して安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。(ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。)<年2回決算型>原則として、毎決算時(2月15日および8月15日)、ただし、決算日が休業日の場合は翌営業日)に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から基準価額水準等を勘案して分配金額を決定します。(ただし、委託者の判断により分配を行わないこともあります。)収益の分配にあてなかつた利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

運用報告書に関するお問い合わせ先

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社
業務部

〒100-8109 東京都千代田区大手町一丁目9番7号
大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

電話番号: 03-6836-5140

受付時間: 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ: www.morganstanley.com/im/jp

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

Morgan Stanley

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型) (年2回決算型)

運用報告書(全体版)

(毎月分配型)

第114期(決算日 2018年3月15日)

第115期(決算日 2018年4月16日)

第116期(決算日 2018年5月15日)

第117期(決算日 2018年6月15日)

第118期(決算日 2018年7月17日)

第119期(決算日 2018年8月15日)

(年2回決算型)

第20期(決算日 2018年8月15日)

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引立てにあざかり厚くお礼申し上げます。

さて、「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(毎月分配型)」は、第114期～第119期までの決算、「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(年2回決算型)」は、第20期の決算を行いましたので当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ミルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■最近5作成期の運用実績

作成期	基準価額 (分配落)	基 準 価 額			債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		税分配	込 金	期 謄 落 率			
第16作成期	90期 (2016年3月15日)	円 5,999	円 30	% 3.9	% 95.3	% —	百万円 5,695
	91期 (2016年4月15日)	5,894	30	△1.3	95.5	—	5,548
	92期 (2016年5月16日)	5,702	30	△2.7	94.3	—	5,428
	93期 (2016年6月15日)	5,546	30	△2.2	93.5	—	5,346
	94期 (2016年7月15日)	5,639	30	2.2	95.3	—	5,424
	95期 (2016年8月15日)	5,480	30	△2.3	95.5	—	5,234
第17作成期	96期 (2016年9月15日)	5,405	30	△0.8	93.1	—	5,102
	97期 (2016年10月17日)	5,482	30	2.0	96.3	—	4,982
	98期 (2016年11月15日)	5,456	30	0.1	96.8	—	4,928
	99期 (2016年12月15日)	5,897	30	8.6	96.1	—	5,266
	100期 (2017年1月16日)	5,745	30	△2.1	96.6	—	5,045
	101期 (2017年2月15日)	5,866	30	2.6	97.1	—	5,089
第18作成期	102期 (2017年3月15日)	5,819	30	△0.3	96.9	—	5,022
	103期 (2017年4月17日)	5,555	30	△4.0	96.0	—	4,749
	104期 (2017年5月15日)	5,797	30	4.9	96.7	—	4,863
	105期 (2017年6月15日)	5,719	30	△0.8	88.5	—	4,799
	106期 (2017年7月18日)	5,904	30	3.8	97.2	—	4,874
	107期 (2017年8月15日)	5,776	30	△1.7	97.0	—	4,708
第19作成期	108期 (2017年9月15日)	5,831	30	1.5	91.9	—	4,702
	109期 (2017年10月16日)	5,783	30	△0.3	96.7	—	4,634
	110期 (2017年11月15日)	5,627	30	△2.2	96.2	—	4,396
	111期 (2017年12月15日)	5,608	30	0.2	97.1	—	4,329
	112期 (2018年1月15日)	5,720	30	2.5	97.4	—	4,332
	113期 (2018年2月15日)	5,563	30	△2.2	97.7	—	4,089
第20作成期	114期 (2018年3月15日)	5,469	30	△1.2	97.7	—	3,999
	115期 (2018年4月16日)	5,458	30	0.3	97.3	—	3,971
	116期 (2018年5月15日)	5,314	30	△2.1	86.3	—	3,845
	117期 (2018年6月15日)	5,129	30	△2.9	86.7	—	3,678
	118期 (2018年7月17日)	5,227	30	2.5	96.2	—	3,723
	119期 (2018年8月15日)	4,916	30	△5.4	96.2	—	3,452

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

ミルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落 率	%		
第114期	(期 首) 2018年2月15日	円 5,563	% —	% 97.7	% —
	2月末	5,543	△0.4	97.6	—
	(期 末) 2018年3月15日	5,499	△1.2	97.7	—
第115期	(期 首) 2018年3月15日	5,469	—	97.7	—
	3月末	5,445	△0.4	97.7	—
	(期 末) 2018年4月16日	5,488	0.3	97.3	—
第116期	(期 首) 2018年4月16日	5,458	—	97.3	—
	4月末	5,440	△0.3	97.3	—
	(期 末) 2018年5月15日	5,344	△2.1	86.3	—
第117期	(期 首) 2018年5月15日	5,314	—	86.3	—
	5月末	5,187	△2.4	86.6	—
	(期 末) 2018年6月15日	5,159	△2.9	86.7	—
第118期	(期 首) 2018年6月15日	5,129	—	86.7	—
	6月末	5,104	△0.5	96.3	—
	(期 末) 2018年7月17日	5,257	2.5	96.2	—
第119期	(期 首) 2018年7月17日	5,227	—	96.2	—
	7月末	5,188	△0.7	95.6	—
	(期 末) 2018年8月15日	4,946	△5.4	96.2	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

ミルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配額)	基 準 価 額			債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		税 分 配	込 金	期 謄 落 率			
16期（2016年8月15日）	円 8,785	円 0	% △2.8	% 95.6	% —	百万円 1,453	
17期（2017年2月15日）	9,712	0	10.6	97.3	—	1,502	
18期（2017年8月15日）	9,865	0	1.6	97.0	—	1,367	
19期（2018年2月15日）	9,803	0	△0.6	97.9	—	1,256	
20期（2018年8月15日）	8,985	0	△8.3	96.4	—	1,050	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額			債券組入比率	債券先物比率
		騰 落 率	%	%		
(期 首) 2018年2月15日	円 9,803	% —	% 97.9	% —		
2月末	9,765	△0.4	97.8	—		
3月末	9,646	△1.6	98.0	—		
4月末	9,694	△1.1	97.6	—		
5月末	9,302	△5.1	87.6	—		
6月末	9,210	△6.0	96.9	—		
7月末	9,414	△4.0	96.5	—		
(期 末) 2018年8月15日	8,985	△8.3	96.4	—		

(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

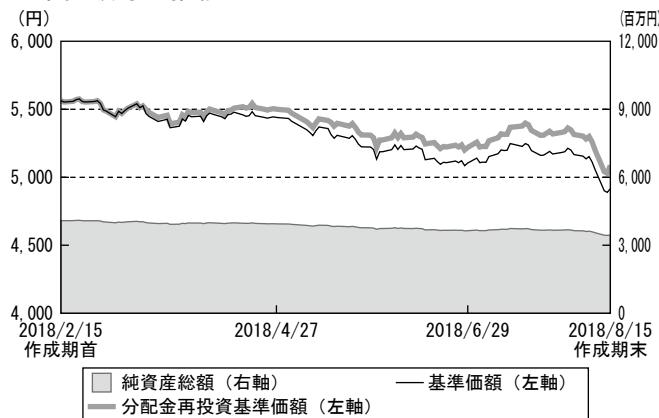
(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■運用経過（2018年2月16日から2018年8月15日まで）

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

基準価額等の推移



第114期首：5,563円
第119期末：4,946円（既払分配金180円）
騰落率：△8.6%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、作成期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指數がないためベンチマークおよび参考指數は設定しておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期は、安定したインカム・ゲインを獲得した一方で、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で下落したため、基準価額は下落し、作成期首に5,563円でスタートした基準価額は作成期末には4,946円（第119期分配金30円込み）となりました。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

基準価額等の推移



第20期首：9,803円
第20期末：8,985円（既払分配金0円）
騰落率：△8.3%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指數がないためベンチマークおよび参考指數は設定しておりません。

基準価額の主な変動要因

当期は、安定したインカム・ゲインを獲得した一方で、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で下落したため、基準価額は下落し、期首に9,803円でスタートした基準価額は期末には8,985円となりました。

投資環境

米朝首脳会談の実現など北朝鮮情勢の改善に向けた取り組みを受けて、地政学的リスクへの懸念が後退したことは、投資家センチメントを回復させる要因となったものの、一方で、米国のトランプ大統領が鉄鋼等の輸入に関税を掛ける方針を示したことをきっかけに、世界的な貿易戦争への発展が懸念されたことや、加えて、政治情勢等への懸念を背景に一部の新興国通貨が下落したことから、高金利通貨は全般的に軟調な推移となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、マザーファンドへの投資を通じて相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。

(1) 投資通貨について

期首には、マザーファンドへの投資を通じて、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

《期末の投資対象通貨》

●モルган・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

(2) 投資債券について

各国の経済動向に注視し、国債を中心に組入れつつ、インカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指しました。

ミルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）（年2回決算型）

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指標は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

分配金

（毎月分配型）

当成期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第114期～第119期各30円（作成期中合計180円）とさせていただきました。第119期におけるボーナス分配につきましては見送らせていただきました。なお、収益分配金にあてなかつた利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期
	(2018年2月16日～ 2018年3月15日)	(2018年3月16日～ 2018年4月16日)	(2018年4月17日～ 2018年5月15日)	(2018年5月16日～ 2018年6月15日)	(2018年6月16日～ 2018年7月17日)	(2018年7月18日～ 2018年8月15日)
当期分配金 （対基準価額比率）	30 0.546%	30 0.547%	30 0.561%	30 0.582%	30 0.571%	30 0.607%
当期の収益	18	21	18	17	24	19
当期の収益以外	11	8	11	12	5	10
翌期繰越分配対象額	140	131	120	108	102	92

（年2回決算型）

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、期中に生じた利子等の分配原資に関しては、収益分配を見送りました。なお、収益分配金にあてなかつた利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	当期
	(2018年2月16日～2018年8月15日)
当期分配金 （対基準価額比率）	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,269

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、マザーファンドへの投資を通じて各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

米国経済は景気拡大傾向が続くと期待され、世界的にも景気の改善が進展すると考えています。金融政策に関しては、米国において緩やかなペースでの追加利上げが想定されます。一方、先進国の主要な債券市場を中心とし金利水準が過去と比較して低いことから、今後も高金利通貨市場に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

新興国に関しては、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めるところから、中長期的には相対的に高い経済成長が期待されます。新興国通貨のバリュエーションに関しては、概ね割安な水準であると考えています。また、一部の国においては構造改革の進展や、経常収支などのファンダメンタルズの改善が確認出来ることもポジティブな要因として考えられます。一方で、トランプ政権の貿易政策や先進国主要中銀の金融政策など、不安定な外部環境を背景に、各国の経済ファンダメンタルズに乖離が生じやすい環境であることから、投資対象の選別が特に重要であると考えています。

一部の通貨についてはボラティリティが高まる状況が見られたものの、10通貨に分散することで一部通貨の影響を軽減することが出来ると考えています。加えて、中長期的には高金利通貨への投資により比較的高いキャリーを積み上げることがパフォーマンスの下支えになると期待されます。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。また、組入債券においては、各国の国債を中心に投資し、インカム・ゲインを中心と安定した収益獲得を目指す方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第114期～第119期 (2018年2月16日～2018年8月15日)		項目の概要
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	27円 (13) (13) (1)	0.509% (0.241) (0.241) (0.027)	a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	4 (2) (1) (1)	0.080 (0.030) (0.016) (0.034)	b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	31	0.589	
当作成期中の平均基準価額は、5,317円です。			

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しております。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年2月16日から2018年8月15日まで）

決 算 期	第 114 期 ～ 第 119 期				
	設 定		解 約		
	口 数	金 額	口 数	金 額	
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	千口 8,290	千円 9,010	千口 156,949	千円 169,888	
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	8,530	9,010	163,466	169,888	

(注) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況等（2018年2月16日から2018年8月15日まで）

作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■組入資産の明細

(2018年8月15日現在)

親投資信託残高

種類	第19作成期末		第20作成期末	
	口数	千円	口数	評価額
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	1,813,480	千円	1,664,821	1,764,211
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	1,908,919	千円	1,753,984	1,675,230

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当作成期末におけるモルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド全体の口数は2,201,862千円、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド全体の口数は2,255,771千円です。

■投資信託財産の構成

(2018年8月15日現在)

項目	第20作成期末	
	評価額	比率
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	1,764,211 千円	50.7 %
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	1,675,230 千円	48.1 %
コール・ローン等、その他	40,013 千円	1.2 %
投資信託財産総額	3,479,454 千円	100.0 %

(注1) モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(2,348,864千円)の投資信託財産総額(2,348,979千円)に対する比率は100.0%です。

(注2) モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(2,164,255千円)の投資信託財産総額(2,170,474千円)に対する比率は99.7%です。

(注3) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、2018年8月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=111.40円、1メキシコペソ=5.89円、1ブラジルレアル=28.80円、1ノルウェーコローネ=13.23円、1トルコリラ=17.46円、1ポーランドズロチ=29.34円、1オーストリアドル=80.52円、1ニュージーランドドル=73.11円、100インドネシアルピア=0.77円、1南アフリカランド=7.80円です。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年3月15日)、(2018年4月16日)、(2018年5月15日)、(2018年6月15日)、(2018年7月17日)、(2018年8月15日)現在

項目	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	第119期末
(A) 資産	4,031,176,876円	4,002,558,634円	3,872,072,749円	3,703,929,303円	3,751,837,379円	3,479,454,294円
コール・ローン等	15,130,347	15,286,760	15,433,761	15,477,834	15,539,926	15,558,113
モルガン・スタンレー 先進国高 金利通貨マザーファンド(評価額)	1,944,557,833	1,948,118,504	1,892,466,470	1,861,470,712	1,863,225,114	1,764,211,567
モルガン・スタンレー 新興国高 金利通貨マザーファンド(評価額)	2,040,233,794	2,012,171,944	1,938,274,218	1,801,285,861	1,845,941,757	1,675,230,210
未収入金	31,254,902	26,981,426	25,898,300	25,694,896	27,130,582	24,454,404
(B) 負債	32,166,957	30,707,749	26,321,895	25,631,532	28,384,037	27,160,514
未払収益分配金	21,937,812	21,831,016	21,710,454	21,516,648	21,371,064	21,067,968
未払解約金	6,724,606	4,955,855	1,097,266	504,896	3,383,365	2,835,386
未払信託報酬	3,193,273	3,572,551	3,201,930	3,289,354	3,307,149	2,967,777
未払利息	41	44	38	43	42	45
その他未払費用	311,225	348,283	312,207	320,591	322,417	289,338
(C) 純資産総額(A-B)	3,999,009,919	3,971,850,885	3,845,750,854	3,678,297,771	3,723,453,342	3,452,293,780
元本	7,312,604,266	7,277,005,421	7,236,818,225	7,172,216,019	7,123,688,282	7,022,656,263
次期繰越損益金	△3,313,594,347	△3,305,154,536	△3,391,067,371	△3,493,918,248	△3,400,234,940	△3,570,362,483
(D) 受益権総口数	7,312,604,266口	7,277,005,421口	7,236,818,225口	7,172,216,019口	7,123,688,282口	7,022,656,263口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,469円	5,458円	5,314円	5,129円	5,227円	4,916円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- 1. 作成期首元本額
作成期中追加設定元本額
作成期中一部解約元本額
- 2. 元本の欠損
貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は3,570,362,483円（第119期末）であります。

7,351,594,175円

33,579,102円

362,517,014円

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■損益の状況

第114期（自2018年2月16日 至2018年3月15日）、第117期（自2018年5月16日 至2018年6月15日）
 第115期（自2018年3月16日 至2018年4月16日）、第118期（自2018年6月16日 至2018年7月17日）
 第116期（自2018年4月17日 至2018年5月15日）、第119期（自2018年7月18日 至2018年8月15日）

項目	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期
(A) 配当等収益 支 払 利 息	△1,115円 △1,115	△1,236円 △1,236	△656円 △656	△1,344円 △1,344	△1,271円 △1,271	△1,098円 △1,098
(B) 有価証券売買損益 売 買 益 益 売 買 損 損	△43,267,156 18,030,112 △43,450,961	△78,964,949 25,074,657 △7,044,545	△108,040,693 210,416 △79,175,365	95,012,149 693,479 △108,734,172	△194,097,718 607,639 △550,818	△194,705,357 △3,257,207
(C) 信託報酬等	△3,504,498	△3,920,879	△3,514,632	△3,609,945	△3,629,612	△3,257,207
(D) 当期損益金(A+B+C)	△46,772,769	14,107,997	△82,480,237	△111,651,982	91,381,266	△197,356,023
(E) 前期継越損益金	△2,634,291,035	△2,688,153,712	△2,677,290,259	△2,754,832,665	△2,866,500,648	△2,754,796,539
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	△610,592,731 (25,784,802) (△636,377,533)	△609,277,805 (25,711,423) (△634,989,228)	△609,586,421 (25,670,055) (△635,256,476)	△605,916,953 (25,492,009) (△631,408,962)	△603,744,494 (25,359,865) (△629,104,359)	△597,141,953 (25,038,718) (△622,180,671)
(G) 計(D+E+F)	△3,291,656,535	△3,283,323,520	△3,369,356,917	△3,472,401,600	△3,378,863,876	△3,549,294,515
(H) 収益分配金 次期継越益金(G+H)	△21,937,812 △3,313,594,347	△21,831,016 △3,305,154,536	△21,710,454 △3,391,067,371	△21,516,648 △3,493,918,248	△21,371,064 △3,400,234,940	△21,067,968 △3,570,362,483
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	△610,592,731 (25,789,939) (△636,382,670)	△609,277,805 (25,717,072) (△634,994,877)	△609,586,421 (25,682,086) (△635,268,507)	△605,916,953 (25,497,501) (△631,414,454)	△603,744,494 (25,364,870) (△629,109,364)	△597,141,953 (25,044,723) (△622,186,676)
分配準備積立金 繰 越 損 益 金	76,684,151 △2,779,685,767	69,975,477 △2,765,852,208	61,529,490 △2,843,010,440	52,255,333 △2,940,256,628	47,978,947 △2,844,469,393	39,813,071 △3,013,033,601

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金であるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(損益および剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

第114期計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,862,355円)、費用控除後の有価証券等損益額(一円)、信託約款に規定する収益調整金(25,789,939円)および分配準備積立金(84,759,608円)より分配対象収益は124,411,902円(10,000口当たり170円)であり、うち21,937,812円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第115期計算期間末における費用控除後の配当等収益(15,511,384円)、費用控除後の有価証券等損益額(一円)、信託約款に規定する収益調整金(25,717,072円)および分配準備積立金(76,295,109円)より分配対象収益は117,523,565円(10,000口当たり161円)であり、うち21,831,016円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第116期計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,707,359円)、費用控除後の有価証券等損益額(一円)、信託約款に規定する収益調整金(25,682,086円)および分配準備積立金(69,532,585円)より分配対象収益は108,922,030円(10,000口当たり150円)であり、うち21,710,454円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第117期計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,782,789円)、費用控除後の有価証券等損益額(一円)、信託約款に規定する収益調整金(25,497,501円)および分配準備積立金(60,989,192円)より分配対象収益は99,269,482円(10,000口当たり138円)であり、うち21,516,648円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第118期計算期間末における費用控除後の配当等収益(17,449,626円)、費用控除後の有価証券等損益額(一円)、信託約款に規定する収益調整金(25,364,870円)および分配準備積立金(51,900,385円)より分配対象収益は94,714,881円(10,000口当たり132円)であり、うち21,371,064円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第119期計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,543,936円)、費用控除後の有価証券等損益額(一円)、信託約款に規定する収益調整金(25,044,723円)および分配準備積立金(47,337,103円)より分配対象収益は85,925,762円(10,000口当たり122円)であり、うち21,067,968円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

■分配金

1万口当たり分配金（税込み）	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期
30円	30円	30円	30円	30円	30円	30円

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と特別分配金にわかれます。
- 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が特別分配金、残りの部分が普通分配金となります。
- 特別分配金が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後個々の受益者の個別元本となります。

■お知らせ

該当事項はありません。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	(2018年2月16日～2018年8月15日)			
	金額	比率		
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	48円 (23) (23) (3)	0.509% (0.241) (0.241) (0.027)	a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価	
b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	8 (3) (5) (0)	0.079 (0.029) (0.048) (0.002)	b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用	
合計	56	0.588		
当期中の平均基準価額は、9,505円です。				

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しております。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年2月16日から2018年8月15日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	千口 134	千円 145	千口 52,799	千円 57,140
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	139	145	55,408	57,140

(注) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況（2018年2月16日から2018年8月15日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

■組入資産の明細

(2018年8月15日現在)

親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	千口 589,704	千口 537,040	千円 569,101
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	557,057	501,787	479,257

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末におけるモルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド全体の口数は2,201,862千口、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド全体の口数は2,255,771千口です。

■投資信託財産の構成

(2018年8月15日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	千円 569,101	% 53.8
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	479,257	45.3
コール・ローン等、その他	8,614	0.9
投資信託財産総額	1,056,972	100.0

(注1) モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,348,864千円)の投資信託財産総額(2,348,979千円)に対する比率は100.0%です。

(注2) モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,164,255千円)の投資信託財産総額(2,170,474千円)に対する比率は99.7%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、2018年8月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=111.40円、1メキシコペソ=5.89円、1ブラジルレアル=28.80円、1ノルウェーコローネ=13.23円、1トルコリラ=17.46円、1ポーランドズロチ=29.34円、1オーストラリアドル=80.52円、1ニュージーランドドル=73.11円、100インドネシアルピア=0.77円、1南アフリカランド=7.80円です。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年8月15日) 現在

項目	当期末
(A) 資産	1,056,972,581円
コール・ローン等	1,892,092
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド(評価額)	569,101,669
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド(評価額)	479,257,602
未収入金	6,721,218
(B) 負債	6,711,738
未払解約金	181,218
未払信託報酬	5,950,581
未払利息	5
その他未払費用	579,934
(C) 純資産総額(A-B)	1,050,260,843
元本	1,168,883,786
次期繰越損益金	△118,622,943
(D) 受益権総口数	1,168,883,786口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,985円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	1,282,318,234円
期中追加設定元本額	307,047円
期中一部解約元本額	113,741,495円
2. 元本の欠損	
貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は118,622,943円であります。	

■損益の状況

当期 (自2018年2月16日 至2018年8月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△742円
支払利息	△742
(B) 有価証券売買損益	△89,155,214
売買益	3,232,513
売買損	△92,387,727
(C) 信託報酬等	△6,530,625
(D) 当期損益金(A+B+C)	△95,686,581
(E) 前期繰越損益金	3,424,833
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△26,361,195
(売買損益相当額)	(25,351,874)
(G) 計(D+E+F)	△118,622,943
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△118,622,943
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△26,361,195
(売買損益相当額)	(25,352,568)
分配準備積立金	590,587,361
繰越損益金	△682,849,109

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(23,716,469円)、費用控除後の有価証券等損益額(-円)、信託約款に規定する収益調整金(25,352,568円)および分配準備積立金(566,870,892円)より分配対象収益は615,939,929円(10,000口当たり5,269円)であるが、基準価額水準、市況動向及び収益分配方針を勘案し、分配を行っておりません。

■分配金

1万口当たり分配金(税込み)

0円

■お知らせ

該当事項はありません。

モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド 第10期
決算日 2018年8月15日／計算期間（2017年8月16日から2018年8月15日まで）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、世界先進主要国の中で相対的に金利水準が高い通貨の中から、為替見通しを勘査して複数の通貨を選定し、当該通貨建ての債券および短期金融商品等に投資を行うことにより、安定したインカムゲインの獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。 国別のファンダメンタルズ分析を行い、債券および通貨のバリュエーション分析等に基づいて国および銘柄を選定します。 市況動向、資金動向、投資環境の変化等により、上記のような運用ができない場合があります。
主要運用対象	世界先進主要国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、新株予約権付社債等の権利行使により取得した株券等に限ります。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■運用経過（2017年8月16日から2018年8月15日まで）

基準価額の主な変動要因

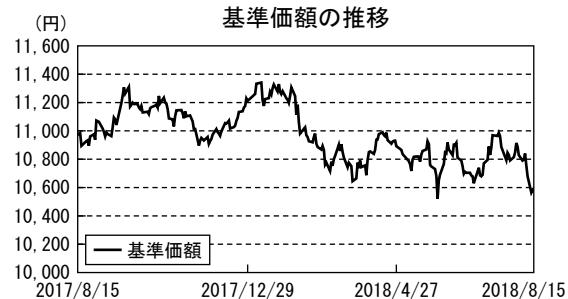
当期は、安定したインカム・ゲインを獲得した一方で、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で下落したため、基準価額は下落し、期首に10,970円でスタートした基準価額は期末には10,597円となりました。

投資環境

米ドル円に関しては1米ドル＝110円前後のレンジの範囲内で推移したもの、トランプ大統領が輸入に対する関税を引き上げる方針を示し、世界的な貿易戦争への懸念が高まり、世界経済を下押しするような影響が想定されたため、高金利通貨は全般的に軟調な展開となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては先進国通貨の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。



(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

(1) 投資通貨について

期首時には、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

以上の投資行動の結果、期末時点では、以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行っております。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

(2) 投資債券について

国債を中心に組入れつつ、流動性が高く信用力も高いものの、国債よりも高い利回りを有していた国際機関債へ一部投資を行い、より高いインカム・ゲインの収益獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、先進国通貨の投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

米国経済は景気拡大傾向が続くと期待され、世界的にも景気の改善が進展すると考えています。金融政策に
関しては、米国において緩やかなペースでの追加利上げが想定されます。一方、先進国の主要な債券市場を中心
に金利水準が過去と比較して低いことから、今後も高金利通貨市場に対しては相対的に高い利回りを求める
ような投資家からの資金フローが期待されます。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通
貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	%		
(期首) 2017年8月15日	円 10,970	—	% —	% 96.1	% —
8月末	11,068	0.9	0.9	96.6	—
9月末	11,190	2.0	2.0	97.6	—
10月末	11,031	0.6	0.6	97.1	—
11月末	10,943	△0.2	△0.2	97.3	—
12月末	11,212	2.2	2.2	98.1	—
2018年1月末	11,198	2.1	2.1	97.6	—
2月末	10,866	△0.9	△0.9	97.2	—
3月末	10,744	△2.1	△2.1	98.0	—
4月末	10,892	△0.7	△0.7	97.5	—
5月末	10,652	△2.9	△2.9	97.9	—
6月末	10,660	△2.8	△2.8	98.0	—
7月末	10,846	△1.1	△1.1	97.5	—
(期末) 2018年8月15日	10,597	△3.4	△3.4	97.6	—

(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率・売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

■1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2017年8月16日~2018年8月15日)		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	6円 (6)	0.055% (0.054)	その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務処理に要するその他の諸費用
合計	6	0.055	

当期中の平均基準価額は、10,941円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しております。

ミルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

■売買および取引の状況（2017年8月16日から2018年8月15日まで）

公社債

		買付額	売付額
外 国	アメリカ	千米ドル 48	千米ドル 997
	ノルウェー	千ノルウェークローネ 1,692	千ノルウェークローネ 7,029
	ポーランド	千ポーランドズロチ 17,668	千ポーランドズロチ 2,205 (18,500)
	オーストラリア	千オーストラリアドル 6,483	千オーストラリアドル 7,716
	ニュージーランド	千ニュージーランドドル 207	千ニュージーランドドル 826

(注1) 金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2017年8月16日から2018年8月15日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

■組入資産の明細（2018年8月15日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区分	当期						期末		
	額面金額	評価額		組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
アメリカ	千米ドル 4,230	千米ドル 4,125	千円 459,588	% 19.7	% —	% —	% —	% 19.7	
ノルウェー	千ノルウェークローネ 33,920	千ノルウェークローネ 34,900	461,728	19.8	—	—	—	—	19.8
ポーランド	千ポーランドズロチ 14,170	千ポーランドズロチ 15,272	448,092	19.2	—	—	—	19.2	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 5,620	千オーストラリアドル 5,634	453,652	19.4	—	—	—	—	19.4
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 6,100	千ニュージーランドドル 6,215	454,417	19.5	—	—	—	—	19.5
合計	—	—	2,277,480	97.6	—	—	—	19.2	78.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

銘柄	当期						償還年月日
	種類	利率	額面金額	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ) US TREASURY	国債証券	% 1.125	千米ドル 4,230	千米ドル 4,125	千円 459,588		2020/4/30
小計					459,588		
(ノルウェー) NORWAY	国債証券	4.5	千ノルウェークローネ 33,920	千ノルウェークローネ 34,900	461,728		2019/5/22
小計					461,728		
(ポーランド) POLAND	国債証券	5.25	千ポーランドズロチ 14,170	千ポーランドズロチ 15,272	448,092		2020/10/25
小計					448,092		
(オーストラリア) AUSTRALIA	国債証券	3.25	千オーストラリアドル 5,620	千オーストラリアドル 5,634	453,652		2018/10/21
小計					453,652		

ミルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

銘柄	種類	利率	額面金額	当期末		償還年月日
				評価額	外貨建金額	
(ニュージーランド) NEW ZEALAND	国債証券	% 5.0	千ニュージーランドドル 6,100	千ニュージーランドドル 6,215	千円 454,417	2019/3/15
小計					454,417	
合計					2,277,480	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨てて。

■投資信託財産の構成

(2018年8月15日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公 社 債	千円 2,277,480	% 97.0
コール・ローン等、その他	71,499	3.0
投資信託財産総額	2,348,979	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(2,348,864千円)の投資信託財産総額(2,348,979千円)に対する比率は100.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年8月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=111.40円、1ノルウェークローネ=13.23円、1ポーランドズロチ=29.34円、1オーストラリアドル=80.52円、1ニュージーランドドル=73.11円です。

モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年8月15日) 現在

項目	当期末
(A) 資産	2,365,054,590円
コール・ローン等	22,225,751
公社債(評価額)	2,277,480,740
未収入金	27,374,509
未収利息	37,616,047
前払費用	357,543
(B) 負債	31,739,388
未払資金	16,151,550
未払解約金	15,587,811
その他の未払費用	27
(C) 純資産総額(A-B)	2,333,315,202
元本	2,201,862,071
次期繰越損益金	131,453,131
(D) 受益権総口数	2,201,862,071口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,597円

■損益の状況

当期 (自2017年8月16日 至2018年8月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	95,781,596円
受取利息	95,795,437
支払利息	△13,841
(B) 有価証券売買損益	△173,464,032
売買益	13,612,115
売買損	△187,076,147
(C) 信託報酬等	△1,469,680
(D) 当期損益金(A+B+C)	△79,152,116
(E) 前期繰越損益金	265,262,076
(F) 追加信託差損益金	1,597,232
(G) 解約差損益金	△56,254,061
(H) 計(D+E+F+G)	131,453,131
次期繰越損益金(H)	131,453,131

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	2,734,435,369円
期中追加設定元本額	16,236,288円
期中一部解約元本額	548,809,586円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）	1,664,821,711円
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）	537,040,360円
期末元本額合計	2,201,862,071円

■お知らせ

債券運用部門のグローバルな組織体制の変更により、債券ポートフォリオの運用及びトレーディング機能を「モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク」（以下、「米国拠点」といいます。）及び「モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド」（以下、「英国拠点」といいます。）に集約するため、本投資信託の運用の指図に関する権限を米国拠点及び英国拠点へ再委託する約款変更を行いました。（平成29年11月11日付）

モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド 第10期
決算日 2018年8月15日／計算期間（2017年8月16日から2018年8月15日まで）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、新興国の中で相対的に金利水準が高い通貨の中から、為替見通しを勘案して複数の通貨を選定し、当該通貨建ての債券および短期金融商品等に投資を行うことにより、安定したインカムゲインの獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。 国別のファンダメンタルズ分析を行い、債券および通貨のバリュエーション分析等に基づいて国および銘柄を選定します。 市況動向、資金動向、投資環境の変化等により、上記のような運用ができない場合があります。
主要運用対象	新興国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、新株予約権付社債等の権利行使により取得した株券等に限ります。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■運用経過（2017年8月16日から2018年8月15日まで）

基準価額の主な変動要因

当期は、安定したインカム・ゲインを獲得出来たものの、為替市場において新興国通貨が平均的に対日本円で下落したため、基準価額は下落し、期首に10,940円でスタートした基準価額は期末には9,551円となりました。

投資環境

トランプ大統領の貿易政策に対する懸念や、各國での選挙等のイベントを背景としたボラティリティの高まり、また一部の新興国での金融市場の混乱等を背景に、高金利通貨市場は軟調な展開となりました。特に、南アフリカにおいては、比較的高いキャリー水準に加えて、大統領交代となり、新政権による構造改革路線が期待されたことを背景に相対的に堅調な推移となった反面、トルコにおいては、大統領が金融政策への介入姿勢を強めていること等が嫌気されたことで軟調な推移となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な新興国の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては新興国通貨の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。



(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

(1) 投資通貨について

期首時には、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

以上の投資行動の結果、期末時点では、以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行っております。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

(2) 投資債券について

各国の経済動向に注視し、国債を中心に組入れつつ、インカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、新興国通貨の投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

米国経済は景気拡大傾向が続くと期待され、世界的にも景気の改善が進展すると考えています。金融政策に関しては、米国において緩やかなペースでの追加利上げが想定されます。一方、先進国の主要な債券市場を中心に金利水準が過去と比較して低いことから、今後も高金利通貨市場に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

新興国に関しては、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めることから、中長期的には相対的に高い経済成長が期待されます。新興国通貨のバリュエーションに関しては、概ね割安な水準であると考えています。また、一部の国においては構造改革の進展や、経常収支などのファンダメンタルズの改善が確認出来ることもポジティブな要因として考えられます。一方で、トランプ政権の貿易政策や先進国主要中銀の金融政策など、不安定な外部環境を背景に、各国の経済ファンダメンタルズに乖離が生じやすい環境であることから、投資対象の選別が特に重要であると考えています。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。また、組入れ債券においては、各国の国債へ投資を行いつつインカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指し、各国の金融政策動向を分析することでキャピタル・ゲインからの収益獲得を目指す方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	%		
(期首) 2017年8月15日	円 10,940	—	—	98.2	—
8月末	11,126	1.7	1.7	98.2	—
9月末	11,171	2.1	2.1	98.0	—
10月末	10,803	△1.3	△1.3	96.9	—
11月末	10,770	△1.6	△1.6	96.2	—
12月末	11,122	1.7	1.7	96.3	—
2018年1月末	11,067	1.2	1.2	98.5	—
2月末	10,952	0.1	0.1	98.6	—
3月末	10,828	△1.0	△1.0	98.0	—
4月末	10,801	△1.3	△1.3	97.6	—
5月末	10,177	△7.0	△7.0	75.8	—
6月末	9,979	△8.8	△8.8	95.0	—
7月末	10,273	△6.1	△6.1	94.5	—
(期末) 2018年8月15日	9,551	△12.7	△12.7	95.4	—

(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

■1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2017年8月16日～2018年8月15日)		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	15円 (10)	0.138% (0.092)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(5)	(0.046)	信託事務処理に要するその他の諸費用
合計	15	0.138	

当期中の平均基準価額は、10,755円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しております。

ミルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

■売買および取引の状況（2017年8月16日から2018年8月15日まで）

公社債

		買付額	売付額
外 国	メキシコ	千メキシコペソ 3,556	千メキシコペソ 22,634
	ブラジル	千ブラジルレアル —	千ブラジルレアル 1,383
	インドネシア	千インドネシアルピア 56,448,000	千インドネシアルピア 9,295,350 (66,591,000)
	南アフリカ	千南アフリカランド 39,170	千南アフリカランド 14,754 (39,600)

(注1) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2017年8月16日から2018年8月15日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

ミルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

■組入資産の明細（2018年8月15日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区分	当期					期末		
	額面金額	評価額		組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
	外貨建金額	邦貨換算金額				5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 78,837	千メキシコペソ 78,971	千円 465,140	% 21.6	% —	% —	% —	% 21.6
ブラジル	千ブラジルレアル 15,763	千ブラジルレアル 15,938	459,020	21.3	21.3	—	—	21.3
トルコ	千トルコリラ 19,477	千トルコリラ 15,670	273,610	12.7	12.7	—	—	12.7
インドネシア	千インドネシアルピア 49,000,000	千インドネシアルピア 55,732,894	429,143	19.9	—	—	19.9	—
南アフリカ	千南アフリカランド 55,000	千南アフリカランド 54,936	428,501	19.9	—	—	—	19.9
合計	—	—	2,055,415	95.4	34.0	—	19.9	75.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

銘柄	当期					期末	
	種類	利率	額面金額	評価額	償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(メキシコ) MEXICO MEXICO	国債証券	% 8.5 8.0	千メキシコペソ 40,755 38,082	千メキシコペソ 40,817 38,153	千円 240,413 224,727	2018/12/13 2020/6/11	
小計					465,140		
(ブラジル) BRAZIL	国債証券	10.0	千ブラジルレアル 15,763	千ブラジルレアル 15,938	459,020	2019/1/1	
小計					459,020		
(トルコ) TURKEY TURKEY	国債証券	10.5 7.4	千トルコリラ 2,677 16,800	千トルコリラ 2,269 13,401	39,622 233,987	2020/1/15 2020/2/5	
小計					273,610		
(インドネシア) INDONESIA GOVERNMENT	国債証券	12.8	千インドネシアルピア 49,000,000	千インドネシアルピア 55,732,894	429,143	2021/6/15	
小計					429,143		
(南アフリカ) SOUTH AFRICA SOUTH AFRICA	国債証券	8.0 7.25	千南アフリカランド 24,400 30,600	千南アフリカランド 24,489 30,447	191,014 237,486	2018/12/21 2020/1/15	
小計					428,501		
合計					2,055,415		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2018年8月15日現在)

項 目	当期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 2,055,415	% 94.7
コール・ローン等、その他	115,059	5.3
投 資 信 託 財 产 總 額	2,170,474	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(2,164,255千円)の投資信託財産総額(2,170,474千円)に対する比率は99.7%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年8月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=111.40円、1メキシコペソ=5.89円、1ブラジルレアル=28.80円、1トルコリラ=17.46円、100インドネシアルピア=0.77円、1南アフリカランド=7.80円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年8月15日) 現在

項 目	当期 末
(A) 資 産	2,227,957,301円
コール・ローン等	91,768,419
公 社 債(評価額)	2,055,415,477
未 収 入 金	57,486,042
未 収 利 息	21,835,890
前 払 費 用	1,451,473
(B) 負 債	73,572,530
未 払 金	57,984,651
未 払 解 約 金	15,587,811
未 払 利 息	18
そ の 他 未 払 費 用	50
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,154,384,771
元 本	2,255,771,974
次 期 繰 越 損 益 金	△101,387,203
(D) 受 益 権 総 口 数	2,255,771,974口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,551円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	2,800,367,340円
期中追加設定元本額	16,561,227円
期中一部解約元本額	561,156,593円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）	1,753,984,096円
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）	501,787,878円
期末元本額合計	2,255,771,974円

■お知らせ

該当事項はありません。